



IIXIL 折板カーポート 梁はね出し

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

お願い

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●部材の固定

- ・必ず指定の組立ネジを使用してください。また、施工後ネジにゆるみがないか点検してください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

<取付け上のおお願い>

お願い

- 取付けは専門業者の方が行なってください。
- 取付けを行なう前に、本体側枠の切欠き加工が必要です。
- 1台、2台用の設定となります。
- はね出し寸法は間口30で最大3000mm、間口55で最大600mm（柱芯々）となります。
- 横連棟・18延長には取付けできません。
- はね出す梁が、標準の梁Hより大きくなる場合は、柱の切詰め寸法が変わります。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 設置する場所の条件により、基礎サイズが変わります。性能を発揮するためには、下記のような現地条件に応じて施工してください。①地盤の堅牢/軟弱さ(地耐力等)、②地盤内の埋設物の有無、③隣地境界線近くの設置、④別の構造物の基礎近くの設置
- 設置場所が本書記載の地耐力と異なる場合はカタログ「カーポート建築基準法対応商品」をご参照ください。
- コンクリート強度は18N/mm²以上で施工してください。

お願い

- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。
- 確認申請による設置の場合は、設置場所・現地地耐力度・設置条件によって基礎サイズが異なるため、確認して施工してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 水漏れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガの原因になります。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
ダウ・東レ(株)	SE960

※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)

※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)

お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

<施工の後に>

⚠ 注意




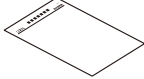
- ボルト、ネジを増し締めしてください。

お願い

- 取扱説明書は施主様にお渡しください。

■梱包明細表

【1】 はね出し用枠塞ぎキャップセット

名称	略図	員数		
		梁幅120用 (梁135、200、240)	梁幅200用 (梁240W)	梁幅150用 (梁280)
枠カバー (梁幅120用)		1	—	—
枠カバー (梁幅200用)		—	1	—
枠カバー (梁幅150用)		—	—	1
【1-1】 φ4×13ナベドリルネジ		4	5	5
【1-2】 φ5×14ナベタッピンネジ		—	4	—
取付説明書〈D541/MAM-50〉		1	1	1

1. 断面納まり図

1-1 側面断面図

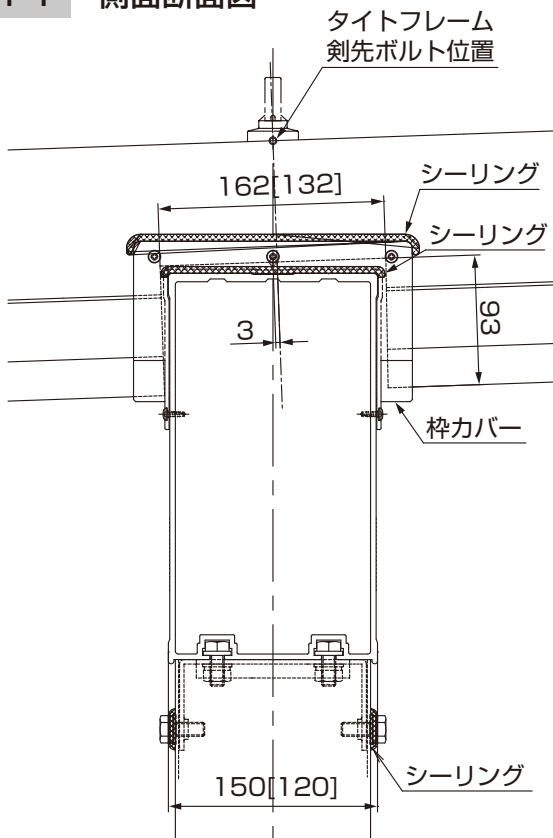


図1-1 梁幅150の場合 (梁280)
※ []内は梁幅120の場合
(梁135、200、240)

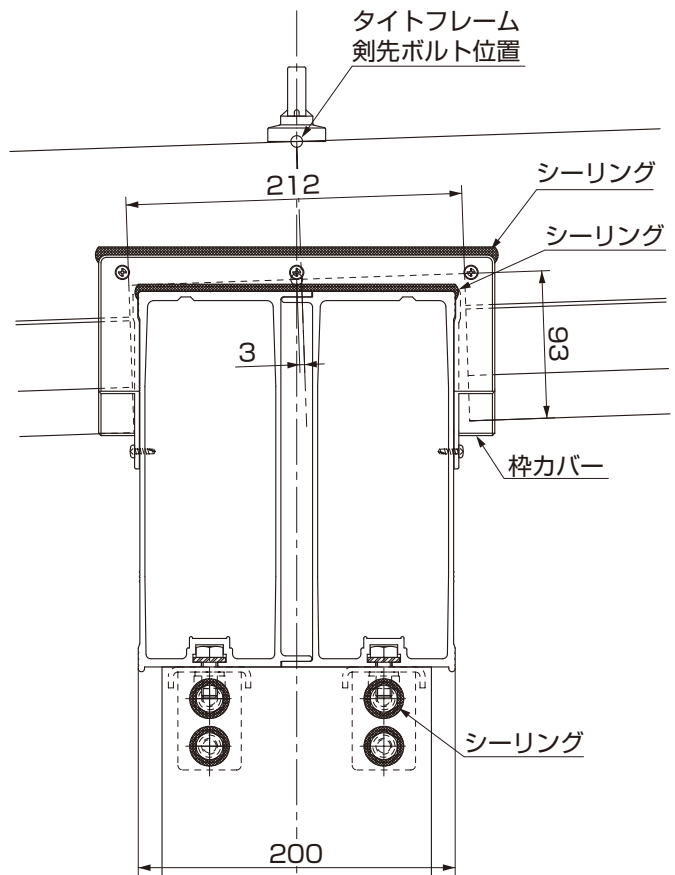


図1-2 梁幅200の場合
(梁240W)

1-2 正面断面図

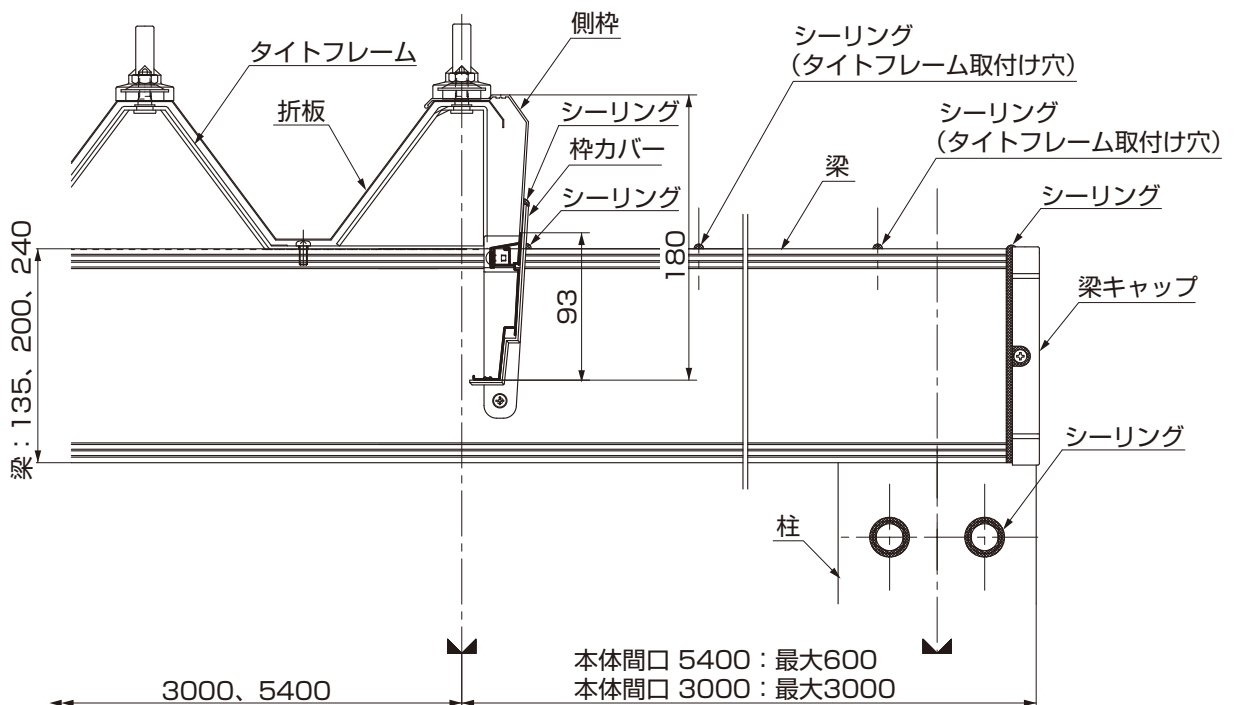


図1-3

2. 各部の名称

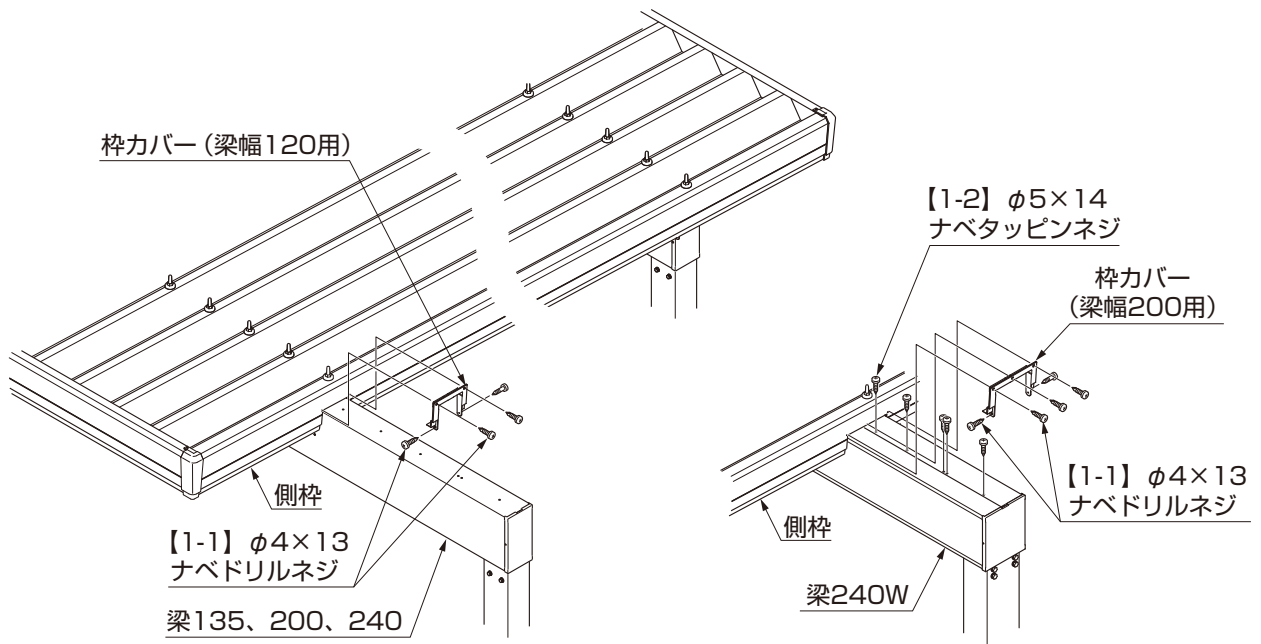


図2-1 梁幅120の場合
(梁135、200、240)

図2-2 梁幅200の場合
(梁240W)

3. 部材の加工

3-1 側枠の加工 ※はね出しする梁側のみ加工が必要です。

①はね出しする梁側の本体側枠を切欠いてください。

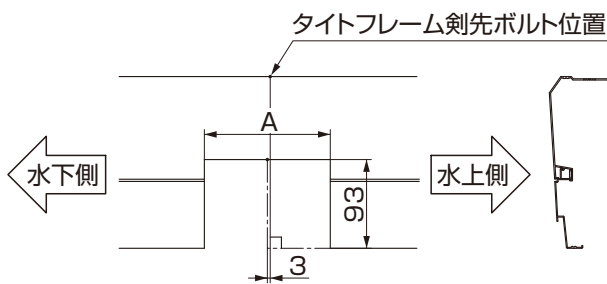


図3-1

表3-1 (単位：mm)

呼称	A寸法
梁135、200、240	132
梁280	162
梁240W	212

お願い

- 切欠き位置はタイトフレーム剣先ボルト加工位置から水下側にずらした箇所が切欠き位置の中心になります。
単体の場合：3mm、縦連棟の場合：1.5mm

3. (つづき)

3-2 柱の切断

表3-2 (単位: mm)

本体梁H	はね出し梁H	柱H
135	200	-65
135	240	-105
200	240	-40

お願い

- ※ 水下側をはね出す場合で梁Hが変わる場合は標準高さが (H23、H25、H30) 下記寸法分低くなります。(製品高さは同じ)

お願い

- はね出す梁が、はね出さない梁より高さが高くなる場合は、柱の切詰めが必要です。

- ① はね出しする梁が本体梁より大きくなる場合は、標準の柱Hより表3-2寸法を短く切断してください。

3-3 部材の組立て

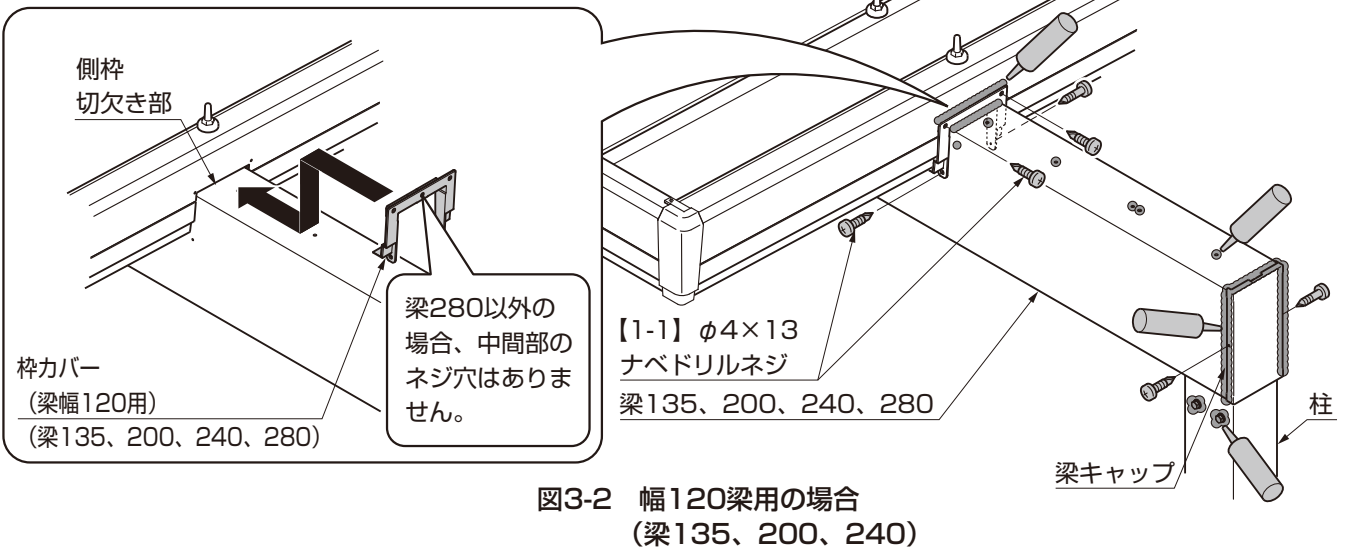


図3-2 幅120梁用の場合
(梁135、200、240)

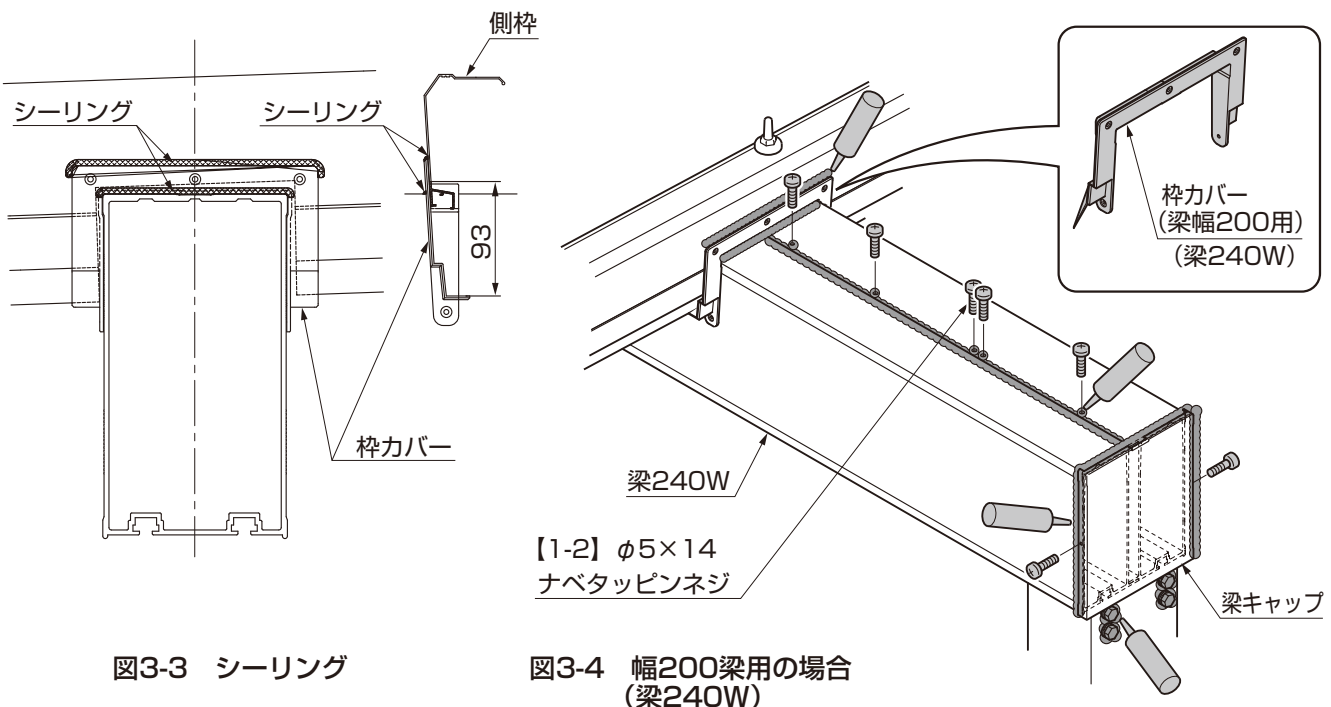


図3-3 シーリング

図3-4 幅200梁用の場合
(梁240W)

お願い

●梁240Wの場合は、梁を【1-2】で梁連結してください。(図3-4参照)

- ①切欠いた側枠を本体に 取付けて、本体部を完成させてください。
- ②枠カバーを側枠切欠き部に合わせ、側枠と梁側面に【1-1】で固定してください。
- ③枠カバーにシーリングをしてください。(図3-3参照)
- ④梁はね出し部上部のタイトフレーム取付け穴部分および梁キャップ上面・側面にシーリングをしてください。
梁240Wの場合は梁接続部にもシーリングしてください。(図3-2、図3-4参照)
- ⑤梁、柱を固定しているボルト回りにシーリングしてください。(図3-2、図3-4参照)

お願い

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

